

刊夕日五月初



定額 一ヶ月金五拾圓 郵費五圓
廣告料 一ヶ月金五拾圓
發行所 常磐每日新聞社
印刷所 常磐每日新聞社

念珠の智識と由來功德

眞 繼 雲 山

普通には百八の念珠によつて、左様な百八ほんのうを断ち切る捨て、しやうと説明され易い、又一應の理として、それを否定するにも當りませんが、佛教として大切なことはそのまよひがそのまよひ菩提に轉ずるの理趣あることであり、天地間には本來、絶對の立場においては、これは善これは惡と名づくべきではありません。たゞそれが相對的な關係となる場合人間に都合のよいものが善となり都合のわるいものが惡と名づけられることになり、その都合のよしあしを考へることを分別心と申します。水は無記といふても善でも惡でもないけれど、洪水となつて家を流せば害となり、渴者の一滴となる場合、それは命の親となるやうなものであります。

煩惱のことを佛教では、「結」と申します。結とは眞直な糸が、結ばれたことであり、眞直な悟りの糸が結ばれたのが煩惱であり、その煩惱の結ばれない元の姿を禪宗では本地の風光とも本來の面目とも申します。煩惱といふ結ばれは解かね

ばなりませんけれども、本來の糸そのものは肝腎な悟りの體であつて、これあることによりその本然の使命を果たし得るのでありますから、本來糸そのものは大切にしなければなりません。そこで百八煩惱の結を解いて佛地に轉じたのが、百八三昧(三昧とは譯して定定とは悟りの姿)つまり百八の悟つた姿でありますから、これを百八尊と申します。百八顆の念珠は百八煩惱を轉すべきことを教ゆると共に、そのまよひ百八尊の功德を表示したものであります。念珠の基本数が百八と定められてゐるのは以上の理趣に由來するのであります。

五、念珠の數の由來
珠の數を千八十としたのは申すまでもなく百八を十倍したのであります。これは百萬遍の大念珠など申し、多勢の人が環のやうに集まつて順々につまぐるために作つた特殊のものであります。普通の寺院や一般在家には餘り見受けなものであります。

五十四といふ數は、固より百八を半數としたもので

文藝募集

凡そ佛弟子たらんものは天上界より二乗を經、菩薩の修業をして佛になるといふのが求道の本筋であります。その菩薩となるためには初地より入つて、五十四階の段があるとされてゐます。その階段とは十住、十行、十廻向、十善根、十地でありまして、この五十四位の一々において一つ／＼煩惱を離れてゆく六づかしい修業があるのであります。その五十四位の一々の説明は長文に亘りま

すゆえ、こゝには省略いたし、單に五十四といふ念珠の數は、その五十四位を表示したものであることだけを申しておきます。

四十二といふ數の念珠がありますのは右の内、十住十行、十廻向、十地といふ四十に等覺、妙覺といふ二位を加へたものであります。等覺とは佛の覺に等しき位妙覺とは妙覺果滿と申して、もう此の上はないといふ佛果のことです。

通學服と防水マント賣出し

- 可愛らし御座います。何卒御用命を
- お嬢ちゃんのお通學服を豊富に取揃ひして御座います。
 - お嬢ちゃんのお通學服を豊富に取揃ひして御座います。
- | | | | |
|-------|---------|------|----|
| 男 兒 用 | 紺サージ金釦服 | 3.80 | ヨリ |
| | 黒小倉服 | .90 | ヨリ |
| | 上 口 | 1.60 | ヨリ |
| 女 兒 用 | 紺サージ制服 | 3.60 | ヨリ |
| | 紺セルセラー服 | 2.80 | ヨリ |
| 防水マント | 片ゴム | 1.20 | ヨリ |
| | 中ゴム | 1.55 | ヨリ |

ふかや洋服店 平三 203

ヒナ人形

現代人形 古代人形其他各種
豊富に取揃へました
是非御來覽御用命を願ひます

スガノヤ提灯店
際物部
平四・電話九十五番

祝御入學

柔道着と劍道具一切
新學期特賣四月一日ヨリ 四月三〇日まで
磐中、平商御兩校へ御目出度く御入學の諸兄及び御両親様へ御喜びの御言葉申し上げます。
就いては必需品の柔道着劍道具は斯界に定評ある最優良品を御推し申上ります。
親切な製造に寄る岩崎製柔道衣を!!!丈夫な品質と廉價とを御批判下さい。

平町本通三丁目
電熱ほうじ茶 舖
大勝園茶舖
柔劍道具販賣部
電三九六番

吉田眼科病院

眼科専門
院長 吉田 安雄
醫學士 吉田 久雄

平紺屋町 電話六〇番

MSカメラ

●春とカメラ●
……何んといふ愉快なことでせう。
カメラを携えて花、笑ひ、鳥、唄ふ春の山野を訪れる……これこそカメラファンのみが持つ、特權でなければなりません。

MS カイ メ ラ
カ テ イ カ メ ラ
キ ン グ カ メ ラ

平 驛 前
いづみやカメラ部

春とカメラ

安齊外科醫院
平町田町
電話四七五番

外科

X 光線科
性病科
外科

平町田町
安齊外科醫院
電話四七五番

入學記念

◆ 景品付大賣出し
来る四月二十五日迄……
八圓以上御買上の方に置時計一ヶ進呈致します。是非御買上の程御願ひ致します。

平町停車場通り
星野時計店

赤ン坊でも一ヶ年

五圓の煙草をすふ

驚くべき平町の喫煙量

一般が愛用能はざる煙草は平地方で一ヶ年間にどれだけの消費されるか？水戸地方専賣局出張所では此程平町に於ける昨年度の煙草消費高を

調査した

たが總額十四萬五千三百圓といふ驚くべき巨額を示し平町の一戸當り三十圓、一人平均五圓となる計算でまだ母の乳房を戀ひ慕ふ嬰兒から老衰に果てた病人までが一年に五圓の煙草を煙にするわけであるが賣行きの王座を占むる

ものは

口付で

朝日、響、兩切ではバット、曉、刻みではなし、はぎ等であるが就中バットは十數日間互つて品切れになるといふ大衆の寵兒である尙町内に於ける小賣人の成績は左の如くで最高は土橋マルマンの二千八百八十圓である

- 一、八〇〇圓 柏原義一
- 二、六四〇圓 猪狩ワカ
- 三、五〇〇圓 平井完治
- 四、五〇〇圓 岩本重雄
- 五、四〇〇圓 須藤スユノ

鯉漁場調査

今年はずいぶん

警城丸來月一日から出動

本縣水産試験場指導船警城丸は五月一日から鯉漁場の調査視察のため出動するが従來は調査出動が遅いため必然的に漁業船の捕獲が遅れ收穫高を減らして居たため今回はこの憾みを一掃せんとして例年よりも十五日早めに出動するものである

馬政委員囑託

石城郡産馬畜産組合書記兼狩長

警中教諭

擔任決定

警中の本年度學年別各組受持教諭は今回左の如く決定發表された

- △一年、一組 大村隆二
- 二組 谷澤武夫
- 三組 小林勝

坂内主席訓導が

飯野校長に榮轉

平第一小學校主席訓導坂内伊貞氏は家事都合に依り退職した長谷川政氏の後を襲つて飯野村小學校校長に榮轉する事になつたが同氏は大正十三年以來滿十年平第一校に教鞭をとり曾我、篠山兩校長を輔けて令名高く父兄より惜まれて居る、後任は来る七日安達郡和田小學校長菅河國尙氏が着任する

平第二教員

告別式

既報平第二小學校で今回の教員異動による佐藤信義(玉川校)大須賀百世(内郷校)吉田倉藏(相馬小學校)小松政一、根本ツナ(各第三校)橋本キシ(退職)諸氏六訓導は本日午前八時より

花澤訓導送別 平第三小學校では七日午後三時から警城第一小學校に轉任

軍馬買上の影響で

中寺の駒糶頗る好績

去月三十日から四月一日まで澤渡村中寺に於いて開市された春駒せり市は出場頭數二百四十二頭で豫定頭數二百六十六頭に比し二十四頭の減少であつたが価格は最高三百圓、最低二十圓で平均六十圓九十九錢、總數一萬四千七百六十一圓で昨年に比較し二割四分の賣上げ増加を示してゐるがこれは軍馬補充買上げ等による影響とみられ尙ほ今後三坂入遊野等四ヶ所が開かれる同せり市も非常な盛況を見込まれてゐる

第三校の

校旗意匠

大體決定す

既報平第三小學校では皇太子殿下御降誕記念事業として同校々旗を制定新調することに決定職員一同から意匠を考案募集中であつたが大體長谷川訓導考案のものに決定した模様である

世話物情話の極粹作

浮名の辻斬音頭

作者 田邊南龍師

目下連載中の講談『銘劍秘双録』は讀者諸君の大喝采裡に本日を以て大團圓を告げましたので引續き明日から徳川三百年を通じて最も華やかな艶物情痴の葛藤史を展開した『辻斬音頭』の題下に世話物情者としての代表的權威の田邊南龍師を頼り歡樂と悲哀交響裡に一抹のユーモラスを加へて連載します御愛讀を乞ふ……

常磐毎日新聞社

佐藤教諭

退職送別

警城高等女學校教諭佐藤與吉郎氏は今回家事都合により退職する事となつたので同校では本日午後四時より

警女級長

選舉で決定

警女では昨日二年生各學年の正、副級長を選舉し職

員會で考査の上左の如く決定した

- (一)飯島シゲ、阿部トシ子(二)熊トリ子
- 久保木ヨネ(三)立花キミ、木田カクヨ(二)
- 四)堀エマ、赤塚キヨ子
- (三)根本久子、唯野秀子(三)白土ワカ
- 田邊美那子(三)阿部良枝、箱崎綾子(三)四)
- 堂野喜美榮、菜花トシヨ
- (四)高木幸子、佐藤ミヨ子(四)作山文子
- 有坂敏子(四)田名綱キミ、田村タキ(四)四)
- 鈴木サダ、赤塚チヨ子

小川江の

起債認可

水路改修工事費充當のためさきに農林大藏兩省に稟請中であつた小川江水利組合の一萬七千圓の起債は四日付を以て認可された

平町人事

- 回死 亡
- △材木町二六 石山治三郎氏(五五)
- △八幡小路八三 鶴沼又吉氏(六二)

小役員數名募集

年齢十五才ヨリ優遇

御希望ノ方ハ午後一時ヨリ本人御來談下さい
平町田町一七
レストランサロン
電話三五二番

大金に眼がくらみ

盗んだ揚ぐに殴る

熱心湯の板の間縁ぎ

逃ぐるを追て大格闘

昨夜午後十時頃平町正月町一野菜屋木村龜作(六)さん七丁目旅人宿兼湯屋熱心湯に入浴の爲め懐中にしるひる七十二圓在中の財布を

胴巻の中に入れ自分の着物と一緒に脱衣場にぬぎ入浴したのを折柄居合した郡山市生れ双葉郡浪江町大字下町字小關三七木挽職横山正吉(四)が見てムラムラと忿心を起し右の財布を胴巻ぐるみ窃盗逃走せんとしたので

入浴中の龜作は裸体のまま正吉を追跡奪ひ返さんとした處反つて正吉は鐵拳を以て龜作の顔面を強打しひるむ隙に逃走したので驚きをきつけた長橋町居住讀賣新聞擴張員小野義一(三)君が追跡格闘中を急報により駆けつけた

平署員のため逮捕されたが餘罪ある見込みで目下平署で嚴重取調中、尙ほ龜作は正吉のため全治一週間の負傷をうけた

兒童の登校は

七時半までに

新學期の學校で希望

平各小學校では新學期より朝會は午前七時五十五分開始、同八時授業が始まるので兒童は遅くも午前七時半迄に登校する様に注意せられ度いと、尙上級生達の退校時刻は午後四時迄である

千圓突破

愈よ確實

函館の義捐金

第三義捐豫定 平第三小學校では目下函館火災の義捐金を募集中であるが

今五日平町役場に提出された町内各區の函館義捐金左の如く累計九百九十圓に達し古銀冶、材木町、仲間町

アンカ女給

失火罪で罰金

既報本年一月中平町白銀町三八カフエー平會館事渡邊マサ方女給小名濱町生れ佐藤徳子(三)が就寝中布團の中の行火を轉倒せしめ同家を全焼せしめた失火事件は去る二日平區裁判所に於いて關口判事係りにて失火罪として略式命令により罰金四十圓の處分を受けた

から平町役場に平警察署長其他度量衡器商の諸氏を招き協議する

納税組合表彰式

来る十四日役場會議室で

平町では来る十四日午前十時から役場會議室に於て優良納税組合並に功勞管理者四名の表彰式を行ふと

盤若湯で

坊さん大暴れ

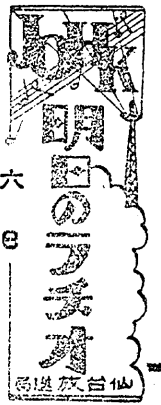
上遠野蓮乗寺住職鮮旭三男佐野廉三郎(三)は四日午前零時三十四沼津驛着東海道線下り一七列車で静岡縣富士郡下の日蓮宗布教の途次徒然なるまゝに列車内で

裁判所たより

△双葉郡大野村大字野上字下野三三吉田基定(六)は本年一月廿五日馬匹検査を請戸村で行はれた際相當の理由なくして受檢に應じなかつた爲め此の程馬藉法違反

平職業紹介所報告

△女中 二十才前後 尋卒 月五六圓
△出前持 二十才前後 尋卒 月五六圓
△炊事婦 三十才前後 給料面談



今晩の部
三曲東京ラヂオオーケストラ 指揮 小松平五郎
後六三〇 三都對局新進 勝拔將棋大手合花の過庭 (第三日)花を語る
後七、三〇 人間の櫻 自然の櫻 理學博士 西村眞琴
後八、〇〇 櫻理學博士

教の要義(三) 山道習學
前九、〇〇 料理献立 朝鮮料理 淡平榮
前一〇、三五 主婦の講座 「洗〇常織」家庭洗濯の合理化」五十嵐健治
前一〇、〇〇 湊川神社遷座奉祝祭實況
後一、〇〇 東京大學野球聯盟極東大會派遣チーム 詮衡試合實況
後二、〇〇 家庭大學講座 「日常生活と法律」大審院判事 三宅正太郎
後六、〇〇 子供の時間 童話劇忠犬ハチ公出演東

京放送童話劇協會
後六、三五 三都對局新進 勝拔將棋手合解説木村義雄
後七、三〇 京城より講演 「朝鮮の鑛業に就て」朝鮮總督府殖産局長種積眞太郎花の週間(第四日)
後八、〇〇 萩江節 鐘が叩 唄萩江壽々々
後八、二〇 義太夫 大阪新町演舞場より中繼 豊竹駒太夫
後九、五五 日本棋院春季東西大手合戦續

木村外科醫院

平町六丁目橋際 白炊院の便あり 電話三九〇

△女中 二十才前後 尋卒 給料面談
△表具見習 十八才 水産校卒
△トラック助手 二十三才 尋卒
△土工夫 五十六才 尋卒 商店雜役 二十二才 尋卒



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴演
山本英春畫

第百九十七回

徳川家に崇る村正

三人で仇討本懐

井戸對馬守が

對「コリヤ水上五太夫其の方の罪状も斯く證入のある以上は逃れる處でない、汝も武士速かに白狀致せ」と仰せの時に五太夫が

五「全く仰せの通り、某の天命つくる處最早卑怯な眞似は仕らん彼の由松の母なる者に横戀慕を致し心に從はざる處より弄り殺したに相違ござらん、尙手前には數々の悪事がござる、第一に水上五太夫と申すは偽りにて、實は旗本溝口五左衛門の成れの果て、ふとした心の迷ひより身を放蕩に持ち崩し、多くの人を殺め金を奪ひ意見をして呉れた中根源五右衛門を殺めましたそれがため妻は父の仇されども現在の良人に對して刃は向けられぬと申して自殺致しました、それにしても尙後悔の念なく諸國を巡り或は人を殺して金を奪ひ、又は山賊の群に入りなど致して……」

とこれまでのことを残らず白狀致しましたが其の内到大恩寺前に於て一人の老人を倒して金を奪つたことも申立てた、それ……

鈴木重太郎の喜びはこの上もございませぬ思ひも寄らぬ父の仇を我が手にかけて召捕つたのであるからこれこそ多年の宿望をとげた譯でございませぬ師範代三人も水上をそれほどの悪人と思つてゐなかつたので大きに



驚きました、又水上實は溝口と白狀致したのを次の間で聞いて居りました中根源太郎は更に怒をおぼへ仇の召捕られたことを此の上もなく喜びました一通りお調べがつくと傳馬町の牢へ送りましたがその時中根と鈴

て五左衛門氣が附いた扱ては此奴等に仇討させんがためわざと輕罪にして追放したのだな宜しういふ譯なら死物狂ひに働いて片端から皆殺しにして逃れることは出来まいが冥途の道連れにしてやらうと、これ又柄

木が口を揃えて井戸對馬守に何とか特別の思召しを以て一太刀づゝ怨まして頂きたいとお願ひをした對馬守も兩人及び由松親子の心中を察しましたから表面溝口の科を軽く致して江戸追放三都お構ひといふことに致し一百叩き放しといふので千住の大橋向ふで追放致しました、溝口五左衛門は夢に夢見る心地、渡された村正の一刀を腰に差してブラ／＼來ると忽ち周圍を大勢に取巻かれた、見ると中根源太郎始め鈴木重太郎、由松、惣兵衛等が鯉口を切つて詰め寄つた、この時始め

前に手を掛ける源「ヤア珍らしや溝口五左衛門父と姉との仇、覺悟致せ」
重「如何に五左衛門汝が大恩寺前にて殺害致したる鈴木重兵衛の伴重太郎父の怨を晴さんため難辛苦は如何ばかり本日時至つて本望を達せんとすこの上の喜はなしい、イザ怨みの刃を受取れよ」
由「ヤイ水上五太夫阿母さんの仇覺悟しろ」
五左衛門カラ／＼と打ち笑つて

五「エ、喧しい何奴此何も冥途の道連れだ覺悟しろ」と双方ガラ／＼と引き抜いたが、五左衛門氣が付くと無殘にも名刀正宗實は仙吾村正刃を殘る方なく潰されてある、これでは仕方がない、よしんば村正の刃が満足でも源太郎に重太郎は五左衛門に優るとも劣らぬ腕前由松も却々出来る、その三人に向はれてはどうする事も出来ない一の太刀は源太郎次いで重太郎由松と忽ちそれへ五左衛門を切り倒し代る／＼、刺めを差し、何れも本懐を達しました、井戸對馬守殿名代として公用人會根次郎兵衛出張して仇討の様子を見届け大いに一同の働きを賞美致しました、扱て仇討後中根源太郎の盡方に依つて信州小諸の信濃屋新藏は一旦國元へ立ち歸り親子兄弟の間が圓満に解決して國の方は改めて弟に譲りその代りには莫大な財産を貰ひ妻子を連れて立ち歸り益その家繁昌致し又由松は新藏の情に依つて父惣兵衛と共に元の芝櫻田本郷町に立派な下駄屋を出しました、又中根源太郎は御書院番に就役致しその内追々出世を成し鈴木重太郎も與力に登庸してその後も役人として名聲を擧げました、又彼の村正の一刀は不淨の劍として破毀されてしまひました。【完結】

花柳病科 小兒科 内科 藤沼醫院

入院應需

町番 七〇五 電話 五〇七

一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雜誌が

自由に讀める

川崎巡文庫

電話六三〇番

(申込次第規則書進呈)

父治三郎儀病氣中の處藥石効なく三日午後十一時五分死去仕候間此段御通知申上候
追申葬送の儀は六日午後一時自宅出棺性源寺に於て佛式を以て葬儀相營可申候
昭和九年四月四日

石山一治
大原榮三郎
緑川治廣
榎田榮太郎
關内正一

入學記念時計賣出し

お目出度い御入學御進學が近づきました。御祝に是非正確な時計及眼鏡を御求め下さい。學生様にかぎり拾ヶ年保険付

特 價 金七 圓ヨリ

近眼鏡(玉入) 金壹圓五十錢ヨリ

右三サービスは 三月十五日ヨリ四月十五日マデ

(小店員數名募集)

平町五丁目(釜屋前)

金光堂時計店 電一九五

三月雛人形御道具類

特價大賣出し

例年之通り人形及御道具類並に高級御殿等豊富に取揃へ陳列いたしました、當店は元來御客様本意主義を以て大勉強いたします。是非御用命の程御待ちいたします。

平町三丁目本通り 落花生問屋

叶加藤商店